

第40回原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 令和元年10月29日（火）10:00～10:08

2. 場 所 中央合同庁舎8号館6階623会議室

3. 出席者 内閣府原子力委員会
岡委員長、佐野委員、中西委員
内閣府原子力政策担当室
竹内参事官、笠谷参事官補佐

4. 議 題

- (1) 佐野原子力委員会委員の海外出張について
- (2) その他

5. 配布資料

- (1) 佐野原子力委員会委員の海外出張について

6. 審議事項

(岡委員長) それでは、時間になりましたので、ただいまから第40回原子力委員会を開催いたします。

本日の議題ですが、一つ目が佐野原子力委員会委員の海外出張について、二つ目がその他です。

本日の会議は11時を目途に進行させていただきます。

それでは、事務局から説明をお願いします。

(竹内参事官) それでは議題1でございます。

佐野原子力委員が海外出張を予定しております。

事務局より海外出張について簡単に御説明させていただく予定です。本件海外出張は、IFNECという国際会議でございますけれども、まだ議題について、最終的に調整中であるところもありますので、我々の方から資料として、具体的な議題のセッションごとのテーマ

などはペーパーで出せない状況ですので、それら会議の具体的内容については口頭で担当の方から触れさせていただきたいと思っております。

それでは、担当の方から御説明をよろしくお願ひいたします。

(笠谷参事官補佐) 御説明申し上げます。

11月11日から17日にかけて、佐野委員の方が米国、ワシントンの方に出張されて、IFNEC（国際原子力エネルギー協力フレームワーク）の会議の出席ですとか、その関係してくる米国の原子力関係者、若しくはIFNECの関係者等と会談される予定でございます。

まずIFNECについて簡単に御説明申し上げます。IFNECは2010年にできた、当初は米国が中心に、次世代の原子炉の開発ですとか、あとは情報交換等を目的としてできた組織でございます。今、メンバー国が34か国で、オブザーバー国は31か国でやっております、基本的に毎年、この時期、大体、秋、11月ぐらいに執行委員会とか、閣僚級の会合をやっております。ちなみに昨年は、日本、東京の方でやって、我が国がホストとして各国を迎えたところでございます。今年は米国、ワシントンの方で執行委員会の方が行われるということで、日本は佐野委員を代表にして、行ってくるということでございます。

簡単に中身の方を申し上げますと、会議の方は、12日の火曜日の方から始まりまして、火曜日の方は、まずIFNECの方には執行委員会のほかに事務方がやっている運営グループですとか、その下に各ワーキングがあるのですが、まず12日の午前中は、ワーキンググループの一つである燃料供給サービス部会ということで、燃料供給についてのワーキングが行われます。ワーキングが三つあるうちの、我が国は需給国関係作業部会において共同議長の方を務めております。また、運営グループにおいては、副議長の方を内閣府の審議官が務めております。この燃料供給サービス部会は、議長をやっているワーキングではございませんが、こちらの方にも参加して、状況について確認してくる予定でございます。

また、12日の午後には運営グループ会合の方が行われまして、これは翌日からの執行委員会に備えて事務方等の会議の手順ですとか、各国の状況の報告とか、そのようなことを確認する場でございます。

続きまして、13日水曜日でございます。この日の午前に執行委員会、閣僚級の会合が行われます。こちらの方は、基本的には各国の方からカントリーレポートということで、各国の原子力政策の状況について報告するというところでございまして、これは今のところ佐野委員の方からカントリーレポートの方の御報告をしていただく予定でございます。

また、IFNECの方は、こういう会議とは別にカンファレンスということで、毎回、必ずしも執行委員会に合わせてではないのですが、カンファレンスということで、テーマを決めて、IFNECの参加国とか、関係者等が集まって、カンファレンスということで、テーマを決めた会合を行っております。

今回は、先進原子炉とSMR（小型モジュール炉）ということで、次世代の原子炉ですとか、SMRについて議論するというカンファレンスが13日の午後、又は14日の午前中にかけて開催される予定でございます。こちらのカンファレンスの方は、テーマごとにそれぞれ各国からプレゼンとかを行って、議論を深めていくという形態をとっているのですが、13日午後のカンファレンスのプレゼンのテーマは、一つ目は、例えばSMRの展開、計画、二つ目はファイナンスについて、三つ目は規制の問題、規制の問題というのは、要は新しい原子炉とかを、そういうのをつくっていく中で、規制当局とどういふふうに対話していくとか、そういうふうなことだと思います。また、四つ目はイノベーションということで、このようなテーマが設けられております。

14日の午前中でございますが、こちらの方も引き続きカンファレンスが行われまして、こちらの方も国際的な視点、原子力に関する国際的な視点ですとか、パブリック・パーセプションに関する国家的な努力、また、SMRの展開についてのディスカッション等々が予定されております。このような感じで、12日、13日、また、14日にかけてIFNECの会合の方が行われる予定でございます。

また、その米国関係の要人との会談というのは、これも今、米国の政府機関の方を中心に調整中ではございますが、一つはNEI、Nuclear Energy Institute、原子力エネルギー協会の会長とのアポがとれておりまして、その方と佐野委員の方が面談する予定でございます。NEIと会う趣旨といたしましては、こちらはこの間、原子力委員会にも来られましたが、日本のATENA、むしろ米国のNEIの方が先なのですが、のような組織でございまして、こちらの方にも、企業とかメーカーとか、アメリカの規制当局と対話をしてきているという実績がございまして、その経緯ですとか、どのような積み重ねがあるのかと、そういうふうな教訓とか、経緯とかを意見交換させていただく予定でございます。

アポの方は、米国政府関係とまだとっているところでございますので、これがとれ次第、また予定の方に追加するという予定でございます。

以上のように、IFNECの会議ですとか、米国要人との会談等で、米国のワシントンの

方の対応を行う予定でございます。

以上でございます。

(岡委員長) ありがとうございます。

それでは質疑を行います。

佐野先生、何かございますでしょうか。

(佐野委員) ありがとうございます。

特にないのですが、この機会を利用して、NEIのみならず、DOE等々と会合を持ってきたいと思っております。

以上です。

(岡委員長) 中西先生、いかがですか。

(中西委員) どうも御説明ありがとうございました。

IFNEC会合に出席してプレゼンされると。また、NEIを始め、いろいろな方とお会いするというので、是非戻られたら、いろいろ情報を教えていただければと思います。どうもありがとうございました。

(岡委員長) ありがとうございます。

私も、米国といろいろ情報交換してこられるということで、大変期待しております。

以上です。

(笠谷参事官補佐) 佐野委員がお戻りになりましたら、また当然、定例会の場ですとか、様々なところで御報告の方をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(岡委員長) それでは議題1は以上です。

議題2について、お願いします。

(竹内参事官) それでは、その他でございます。

今後の会議予定について御案内いたします。

次回第41回原子力委員会の開催につきましては、開催日時、11月5日、13時半から、開催場所は8号館6階623会議室、議題は調整中で、後日、原子力委員会ホームページ等の開催案内をもってお知らせいたします。

(岡委員長) ありがとうございます。

そのほか、委員から御発言はございますでしょうか。

それでは御発言がないようですので、これで本日の委員会は終わりにします。ありがとうございました。